

地域包括ケアの深化・推進のための多職種連携研修会

日時：令和4年10月19日18時30分～20時15分
参加人数：89名（会場29名、ZOOM60名）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、研修会場での参加者は木更津市在宅医療・介護連携推進協議会委員に限定し、他参加者はZOOM配信で参加する複合型で研修会を実施しました。

○講演：地域連携とリハビリテーション

講師：君津中央病院 リハビリテーション科科长 笠原 啓介 氏

〈概要〉

- ・大腿骨頸部・転子部骨折で入院中に、多職種連携による診療を行うことで、合併症の予防または、歩行能力・ADL・QOLの改善につながる。病院施設等内だけではなく地域での連携が期待される。
- ・君津圏域「大腿骨頸部・転子部骨折地域連携パス」については、四市広域の病院・クリニックが連携し、多職種による機能の分化や効率化を図ることや治療・看護・リハビリテーションの連続性を確保が目的。
- ・地域連携パスの導入により、計画管理病院では入院期間が短縮され、回復期病院では在宅復帰率が向上した。
- ・在宅高齢者において運動療法は、転倒数を減少させ骨折予防に有用である。
- ・最も効率的な運動は、「続けられる運動・活動」。
「運動」：楽しいと思え、仲間とともに続けられるもの。
「活動」：こまめに動き、座っている時間を短くする。

○アンケート結果（アンケート回収70名）

①研修会に参加してどうでしたか？

良かった：60名 どちらともいえない：8名 良くなかった：2名

②開催方法はどうでしたか？

良かった：58名 どちらとも言えない：9名 良くなかった：3名

※上記①②の「良くなかった」との回答では、ZOOM配信での参加者側のマナーやホスト側への講演方法についてのご意見をいただきました。

③研修内容の感想（抜粋）

- ・職種が健康づくり、予防の仕事なので、講話の内容がとても近いものと感じました。
- ・身体を動かす時間があり少しリフレッシュできた。
- ・デイサービスご利用のお客さまにもあてはまる内容でとても勉強になりました。
- ・施設内の要介護高齢者のリハビリには苦勞しています。リハビリ専門職との連携について、今後、検討していきたいと考えています。

【参加者】

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、作業療法士、ケアマネジャー、ヘルパー、
管理栄養士、社会福祉協議会・地域包括支援センター・行政職員等

主催：木更津市在宅医療・介護連携推進協議会

共催：君津木更津医師会第一部会・君津木更津歯科医師会・君津木更津薬剤師薬業会